

# 祝 古河駐屯地創立65周年記念行事

## 第1施設団創隊58周年



古河駐屯地及び第一施設団は、六月八日「古河駐屯地創立六十五年記念行事」を挙げて、この日、部内外から多数の来賓の他、隊員家族、地域住民等三千七百二十六人が駐屯地を訪れた。

記念式典において執行者（豊田将補）は「歴代司令等隊員OBの今までの努力と来賓、隊員家族及び地域住民の協力に感謝するとともに、たゆまぬ訓練と各種任務への即応を担う隊員を、厳しい環境において、日々の努力を重ねて、信頼される強い自衛隊であり続けることが、我々の責務である（要旨）」と致辞を述べた。

観閲行進では、部隊の堂々とした行進の中、災害派遣時に応急復旧等を担任する施設科部隊が所在する駐屯地であることを踏まえた装備品紹介を実施し、部隊の特性とその活動について、来場者の理解の深化を図った。

この他、駐屯部隊が災害派遣等を担当する市町の旗の紹介、アトラクションとして第1音楽隊による音楽演奏・防衛大学校儀仗隊によるドリル演奏及び訓練展示を行い、観客の目を惹きつけた。特に、訓練展示では、74式戦車やFH70等、各種装備の運用場面を展示し、来場者を魅了した。

その後の装備品展示の中では、双腕作業機を使用した資材等の移動、器材の切断等展示し、災害派遣の際は民間の器材を使用して瓦礫の撤去作業などが可能であることを説明した。また、ちびっこ広場や売店等は絶えず来場者で賑わい、大盛況のうちに終了した。



装備品展示（双腕作業機）



防衛大学校ドリル



観閲行進



執行者（豊田陸将補）



祝賀会食



訓練展示



市町旗紹介



観閲部隊

# 企業隊内生活体験



救急法



連結



ベッドメイク



基本教練



団結会



体力測定



行進



天幕構築

古河駐屯地各部隊は四月九日から十一日、十六日から十八日の間で六社、計三十二名の企業生活体験を実施した。

本体験では企業の要望である「規律心・団結心の向上」に重点をおき、基本教練・天幕構築・野営・連結・体力測定・行進・救急法等の体験を行うとともに、併せて自衛隊の任務等も説明し、多岐にわたる活動などについて参加者の理解を深めた。

駐隊した当初は、緊張した面持ちであったが、隊員と接し、限られた時間の中で、次の行動を考えて機敏に行動する者、また、できない者を応援する者、自衛隊の規則正しい生活を通して規律心・団結心を向上した。

体験者からは「基本教練等での集団行動や、人を指揮することが難しかった」「集団生活に戸惑ったが、同期と絆を深めることができ」「一会社ではできない様々な事を体験させて頂き、勉強になった」「等の感想があった。」「それぞれ三日間という短い期間ではあったが、内容の濃い体験と同期の絆を深め、参加者達は駐屯地を後にした。

## 駐屯地モニター終了式・委嘱式



委嘱式者との記念撮影



終了式・委嘱式



駐屯地見学



会食

古河駐屯地は五月二十九日、平成三十年駐屯地モニター終了式及び令和元年度駐屯地モニター委嘱式を実施した。

本行事において、終了者には引き続き、駐屯地に対する意見・要望等をお願いし、委嘱者にはモニター役を説明するとともに、自衛隊（駐屯地）の概要説明及び駐屯地を見学頂いた。

また会食では業務隊長を交え、様々な意見を交換して、駐屯地と地域社会との一体化を図るとともに、親近感の醸成を図った。

## 転入・新規採用者の紹介



七月一日付、転入事務官一名（稲葉事務官<sup>㊟</sup>）、新規採用事務官一名（田中主事<sup>㊟</sup>）の計二名の事務官が新たな戦力として古河駐屯地に配置された。

## 定年退官予定者の紹介



関東補給処古河支処  
二ッ森 2曹  
10月19日付



古河駐屯地業務隊  
天谷 1尉  
10月20日付



第101施設器材隊  
八木 1曹  
9月23日付



第1施設団本部付隊  
柏瀬 曹長  
8月11日付



# 第301ダンプ車両中隊



分隊ミッションブリーフィング

四月九日から十一日までの間、第一回中隊統制訓練を実施した。小隊長命令下達後、各分隊計画でミッションブリーフィングを行い、高田駐屯地の往復を無事故で走行し、若年隊員の操縦能力及び分隊長の指揮能力を向上させた。



駒門道（走行散布）

五月七日から十六日までの間、春季東富士演習場定期整備に参加し、ダンプによる全般支援任務を一件の事故もなく完遂した。この間、総連土台数五百七十一台・三千四百二十六㎡の骨材を運搬し、若年隊員の操縦能力及び施設機械操作能力を向上させた。

# 第102施設直接支援大隊



タイヤ交換の様子

五月八日から十七日までの間、東富士整備支援隊として、当該整備に参加した。野整備支援の実施により本演習場定期整備の円滑な実施に寄与するとともに、本期間を部隊練成の場として最大限活用し、野外整備能力の向上を図った。



整備競技の様子

五月十二日、東富士演習場において大隊野整備競技会（車両回収）を実施した。本競技会で、野整備部隊が作戦行動するために必要な実員指揮能力及び野外における整備技術の向上を図るとともに、部隊の団結を強化し、士気を高揚させた。

# 320基地通信中隊 古河派遣隊



会食の様子

四月十九日、古河派遣隊へ第三〇基地通信中隊長が来隊、初度視察が行われた。通信所勤務をはじめとして派遣隊一丸となり、業務の円滑かつ確実な実施のために整備、保全が適正に管理されているかの視察を受けた。この日は会食も行われ、中隊長及び通信隊先任陸曹、古河派遣隊から七名合計九名が参加、終始和やかな会食となった。



電話機を設置する隊員

朝霞駐屯地の東通群教育隊で三ヶ月間の臨時勤務を終えた小澤三曹が原隊復帰し、同月七日から十四日までの間、現在、霞ヶ浦駐屯地で教育中の元教え子達の内の三人が通信所研修のため古河派遣隊に來隊した。駐屯地記念行事と重なり、研修者にも実作業を行わせ、非常に実務に近い研修となり大きな糧となった。

# 第337高射中隊



野外訓練の様子

中隊は六月十二日から十四日までの間、東富士演習場にて中隊野外行動訓練を実施した。本訓練において、中SAM中隊として野外行動に必要な各種能力を向上することができた。引き続きあらゆる事態に対応できるよう練成を継続し、精強な部隊を目指していく。



中隊創隊10周年記念撮影

中隊は六月八日、駐屯地創立六十五周年記念行事に併せて、中隊創隊十周年記念懇親会を実施した。懇親会には歴代中隊長を始めとした中隊OBの方々、第二高射特科群長及び隊員家族等多数の参加を頂き、相互の親睦を深めることができた。これからの諸先輩方が築いてきた良き伝統を継承し、更に飛躍することを胸に誓った。

# 第1回花壇コンクール結果

順位	部隊
1位	器材隊架橋中隊
2位	ダンプ中隊
3位	古河支処施設部
4位	業務隊
5位	高射中隊
6位	団本部付隊
7位	施設直接支援大隊
8位	高射直接支援小隊
9位	会計隊
	基通隊
10位	器材隊本部付隊
	器材隊特殊器材中隊
	古河支処総務部



第1位 器材隊架橋中隊の花壇

花壇コンクール前期については、第一〇一施設器材隊が第一位、二位以下の結果については左記のとおり。後期については十一月を予定、各部隊の団結力を見せ、表彰台を目指そう。

# 第341会計隊



射撃訓練の様子

六月九日から十一日までの間、東富士演習場において野外会計訓練を実施し、展開地域における会計支援態勢の確立及び各種状況への対応要領について演練して野外会計実務能力の向上を図った。九月予定の訓練検閲受閲において訓練成果を十分に発揮できるより更なる練成に励んでいく。



岡村三曹

五月七日から十七日までの間、演習場定期整備会計同行支援班として、富嶋三尉、岡村三曹が参加し、整備隊に必要な借上器材に係わる調整、糧食品現地調達及び緊急調達対応等を実施した。優秀隊員として、第一施設団長より岡村三曹が褒賞を受けた。